

# OFA GK育成プロジェクト 活動レポート

2018年10月  
一般社団法人大阪府サッカー協会



## OFA GKアカデミー

文責：時久 省吾 (OFA GKアカデミーGKコーチ)

10月はゲームで関わり続ける事をテーマにトレーニングに望みました。プレーではシュートストップやディストリビューションなど様々な場面があります。その中でプレーしていない時にリスクマネジメントするにはどうしたらいいのかをメインに取り組みました。リスクマネジメントとは、攻めてる時に相手と味方の状況を把握して、味方にコーチングを行い次の攻撃の起点を未然に防ぐことを目的とします。その時のコーチングの声の質(大きさ、端的に分かりやすく、タイミング)にこだわって行いました。GKアカデミーではGKのみのトレーニングしか行えないので、ゲームで起こりうるシチュエーションをなかなか作りだすことができません。しかし、その中でもイメージを持ちながらトレーニングすることは可能なので、映像を使ってゲームの中で「この時のコーチングはどんなコーチングがいいか？」とクイズ形式で行って選手に考えてもらったりしました。コーチングするには常に状況を把握していなければならないので、ゲームに関わり続ける事が大事で、その中でボールがない場所などの見るポイントを学びました。試合中のGKのほとんどの仕事がコーチングだと思うので、非常に大切な役割だという事を選手には理解してもらっています。まだまだスムーズには行えませんがしっかりとリーダーシップを後ろから取れるように努力していきたいと思います。



## OFA GKスクール

文責：櫛引 実 (JFAアカデミー堺GKコーチ)

今月はU-12、U-15共に2回づつでした。U-12は10月1日(月)にレッスン6(フロントダイビング)、22日(月)にレッスン7(アングルプレー)を行いました。U-15は15日(月)にレッスン7(アングルプレー)、29日(月)にレッスン8(ディストリビューション)を行いました。U-12のフロントダイブでは、殆ど全てのスクール生が静止球でのテクニックはできるようになりました。対面での動いているボールに対しても大半が出来るようになりました。ただ、実践になり相手やDFがつくと正確にテクニックが発揮できなくなりました。しかしそんな中でも積極的なポジショニングと飛び出すことは意識できていました。また、アングルプレーではロープを使ってポジションをしっかりと確認して止まって考える時間があれば正しいポジションが理解できました。ただ、ボールが動いている状況や、実践のゲームで起きる状況だとズレたり、構えがとれなかつたりが多くなりました。状況が変化する中でも瞬時にポジションがとれる様に、更にトレーニングが必要だと感じました。U-15のアングルプレーも同様に止まったボールに対するポジショニングはしっかりと理解し、外の持ち出し、中への持ち出し、パスが一本の状況であれば、かなり良いポジションから良い構えが出来るようになりました。ただ、実践に近くなり、マイボールを奪われた瞬間の設定となるとエラーは多く出ました。ゲームも同様にカウンター場面やDFとの連携では、ポジションのズレが多く出ました。ディストリビューションでは最後に実践に近いシチュエーションを作りトレーニングをしました。優先順位を考え、前方を覗いてDFとの駆け引きをする事は意識できましたが、結局は基本のテクニックのところで正確に蹴れない事で、エラーが起きることが多くありました。やはり、この年代ではもっと多くの時間をキック練習に費やして欲しいものです。



協賛

ユニバーサル株式会社、ユアSAM&B株式会社

お問い合わせ先

一般社団法人大阪府サッカー協会

〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-7-25 イトーダイ鞠本町ビル6階

TEL：06-6441-5881 (平日10:00～18:00) FAX：06-6441-5882 <http://osaka-fa.or.jp>